

埼玉利根医療圏で働く医療関係者様へ

第6回埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会開催にあたり

2011年3月11日に発生しました東日本大震災におきまして、被害に遭われました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々と、ご遺族の皆様には、深くお悔やみ申し上げます。

さて、これまでの地域医療をテーマとしたシンポジウムにより、地域医療が抱える問題の全貌が明らかになって参りました。それは、①少子高齢化に伴い糖尿病に代表される慢性疾患が急増していること、②その結果として慢性腎不全や、脳梗塞・心筋梗塞などの急性疾患が引き起こされており、しかもその数が増え続けているということ、③若者、すなわち納税者人口の減少や医療保険収収率の低下により、国保などの医療保険財政が破綻の危機に直面していること、④しかしながら、利根医療圏では、こうした問題を解決していく鍵となるヒューマンネットワークや連携モデルなどが既に構築されていることであります。

私たちにできることは、地域の限られた医療資源を連携・連動させ、地域医療を支える人材を育成し、限られた医療資源で最大限の介入効果を発揮する体制作りが求められております。すなわち、「地域をひとつの病院に」という10文字に込められた本研究会のミッションに他なりません。住民や病気に苦しむ患者さん達に希望を与える為にも、地域が協力し合う体制を作り上げなければなりません。

本研究会が発足してから1年余りが過ぎました。昨年9月にはNPO法人格も取得し、約600名の方々にご参加をいただきました。第6回研究会では、本会が新たなステージへと進み、具体的な成果を上げていく為の「新たな提言」をさせて頂きたいと考えております。

糖尿病に関する講演は、さらに大きくハードルを下げ、誰でも容易に分かりやすい実用的な内容（マニュアル化）に致しました。是非、ご期待いただければと存じます。

本研究会が皆様にとって、「出会いと学びの場」となれることを切に願っております。ご多用中とは存じますが、多くの方々にご参加を頂けるよう、心よりお待ち申し上げます。

「地域をひとつの病院に」

平成23年6月吉日

医療法人 新井病院 院長 関谷 栄

医療法人 三和会 東鷲宮病院 院長 青木 博美

社会医療法人 JMA 東埼玉総合病院 院長 高井 孝二

新井医院 新井克典

社会医療法人 JMA 東埼玉総合病院 地域糖尿病センター 中野 智紀